

2023（令和5）年度

霧島市隼人人権啓発センター運営審議会



日時：2023年 5月23日（火） 13時30分～
会場：霧島市隼人人権啓発センター会議室

霧島市隼人町真孝2490-11
【電話・FAX】 42-0558

会 次 第

- 1 開会のことば
- 2 霧島市長あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 会長選出
- 5 会長あいさつ
- 6 啓発センター所管部・課 職員の紹介

市民環境部長 有満 孝二

市民課長 森 知子

市民課人権・男女共同参画グループ長 清水 大輔

・隼人人権啓発センター

館 長 山口 善継

副 館 長 徳永 浩之

指導相談員 坂元 小百合

- 7 審議

審議事項1 2022年度事業経過報告について

審議事項2 2023年度人権啓発センター運営方針（案）について

審議事項3 2023年度人権啓発センター事業計画（案）について

- 8 その他
- 9 閉会のことば

霧島市隼人人権啓発センター運営審議会

<目的>

人権啓発センターの運営に関する重要事項を調査審議するほか、人権啓発センターに関する市長の諮問に応じ、意見を具申する。

任命期間：2023年4月1日から2025年3月31日まで

霧島市隼人人権啓発センター設置及び管理に関する条例

第4条第2項第1号の委員（識見を有する者）

第4条第2項第2号の委員（地域の代表）

第4条第2項第3号の委員（市の職員）

審議事項1

2022年度事業経過報告

1 社会調査及び研究事業

世帯数及び人口

<霧島市> 2023年4月1日現在

世帯数	男	女	合計
62,361	59,997	64,115	124,112

<隼人町>

世帯数	男	女	合計
19,263	18,648	20,046	38,694

<校区>

世帯数	男	女	合計
6,623	6,649	6,927	13,576

<地域>

世帯数	男	女	合計
254	207	235	442

<地域の年齢別人口>

年齢	男	女	合計	年齢	男	女	合計
0-4	6	7	13	55-59	10	15	25
5-9	10	5	15	60-64	14	17	31
10-14	5	10	15	65-69	20	25	45
15-19	9	11	20	70-74	18	25	43
20-24	23	12	35	75-79	11	15	26
25-29	10	15	25	80-84	10	12	22
30-34	7	6	13	85-89	5	8	13
35-39	10	11	21	90-94	0	7	7
40-44	12	11	23	95-99	0	1	1
45-49	18	12	30				
50-54	9	10	19		207	235	442

<地域の就学状況>

	小学校			中学校			高校		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
1年	0	0	0	1	2	3	2	5	7
2年	0	4	4	1	1	2	1	0	1
3年	3	0	3	0	2	2	2	5	7
4年	2	1	3						
5年	0	1	1						
6年	1	1	2						
合計	6	7	13	2	5	7	5	10	15

2 相談事業

事業区分	延べ回数	延べ人員	備考
(1) 職業相談	18回	24人	求職相談・雇用手続き相談
(2) 生活相談	129回	20人	窓口代理納入依頼
		106人	生活相談・その他の相談
(3) 健康相談	0回	0人	
(4) 人権相談	4回	4人	
(5) 教育相談	1回	2人	奨学金関係
計 相談事業	152回	156人	

3 啓発・広報活動事業

(1) 人権学習会等

事業区分・事業内容	対象者	開催日・場所	参加人数
① 第1回人権学習会 *DVD視聴 「違い」を「力」にするために ～職場のコミュニケーションのヒント～	受講生 講師	2022.5.2～ 5.24 ※各教室ごとに 11回実施 ・啓発センター	150人
第2回人権学習会 *講演「誰もが幸せに生きるために」 ～人の心に思いを馳せて～ *講師 鹿児島県人権同和对策課 人権研修推進員 宇都 節郎さん	受講生 講師	2022.7.21 ・国分総合福祉 センター	66人
第4回人権学習会 *講演「ハンセン病問題を考える」 *講師 国立ハンセン病資料館事業部社会啓発課 学芸員 牛嶋 涉さん	受講生 講師	2023.2.9 ・サン・あもり	43人
第5回人権学習会 *DVD視聴 「牛肉とわたしたちの暮らし」	受講生 講師	2023.3.25 ・隼人農村環境 改善センター	80人
② 部落解放第16回霧島市研究集会 (第3回人権学習会) *DVD視聴と学習資料の説明(児童生徒支援加配教諭) [水平社を立ち上げた人々-人間は尊敬すべきものだ] *講演「今日までそして明日から」 *講師 人権劇団「光座」代表 室原 正孝さん	受講生 講師 一般	2023.1.21 ・隼人農村環境 改善センター	197人

(2) その他啓発活動

- ・同和問題啓発強調月間パネル展示 2022. 8/1～8/12 市民課前ロビー
- ・小中学校児童生徒人権啓発作品展 2023. 1/16～2/3 市民課前ロビー

4 地域交流事業

(1)一般教室

教室名	開講日	延べ回数	述べ受講者数	受講者数	左のうち地域内
絵手紙	第1月曜日	10	44	6	0
折り紙	第1水曜日	11	103	14	1
着物着付け	第2・4月曜日	22	224	14	0
元気体操	第2・4水曜日	22	334	20	0
津軽三味線	第1・3水曜日	22	169	9	0
パソコン(入門)	第1・3火曜日	22	161	14	0
パソコン(実用1)	第2・4火曜日	21	220	13	0
パソコン(実用2)	第1・3金曜日	22	234	14	0
パッチワーク	第1・3火曜日	22	183	11	0
舞踊	毎週金曜日	44	265	7	2
フラワーアレンジメント	第2火曜日	10	46	5	0
合計		228	1983	127	3

(2)各種学習会

学習会名	対象者	延べ回数	延べ参加者数
学習相談会(小学校)	全学年	24	136
学習相談会(中学校)	全学年	30	45
学習相談会(高校)	全学年	0	0

学習会名	対象者	延べ回数	延べ参加者数
小学校解放学習会	全学年	27	167
中学校解放学習会	全学年	0	0

学習会名	対象者	延べ回数	延べ参加者数
各種人権学習会	教室受講者・講師・一般	5	536

(3)教養・文化活動

	対象者	延べ回数	延べ参加者数
硬筆教筆	地域住民(受講者7名)	22	105
識字	地域住民(受講者0名)	0	0
地域のひろば推進事業(※支援)	地域の高齢者ほか	28	295

5 人権啓発センターだより発行

地域住民・運営審議会委員を対象に年4回

6 人権啓発センター職員の資質の向上

◆全国隣保館連絡協議会・鹿児島県隣保館連絡協議会主催の研修会

- ・全国隣保館九州ブロック女性職員研修会(2022.9/29~30 熊本県 熊本市)
- ・全国隣保館職員九州ブロック研修会(2022.11/15~16 鹿児島県 霧島市)
- ・全隣協ブロック別学習会及び九州ブロック独自研修会(2023.2/7~8 福岡県 北九州市)
- ・鹿児島県隣保館連絡協議会職員研修会(2022.8/31 隼人人権啓発センター)
- ・鹿児島県隣保館連絡協議会女性職員研修会(2022.6/9・2023.2/27 隼人人権啓発センター)

◆各種研修会

- ・鹿児島県人権・同和教育研究協議会の主催する研修会
- ・始良地区人権・同和教育研究協議会の主催する研修会
- ・霧島市人権・同和教育研究協議会の主催する研修会
- ・その他運動体の主催する研修会

審議事項2

2023年度 人権啓発センター運営方針（案）

（人権啓発センターの目的）

人権啓発センター（隣保館）は、地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発のための住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、同和問題をはじめ、生活上の各種相談事業や人権課題の解決のための各種事業を総合的に行うものとする。

（人権啓発センターの運営方針）

- 1 人権啓発センターの目的を達成するため、地域住民の理解と信頼を得ながら、地域社会に密着し、また、地域住民の生活課題に応じた事業計画を長期的展望の下に毎年度策定し、その計画に基づいて事業を実施する。
- 2 人権啓発センターの運営に当たっては、地域住民の自立支援を基本とするとともに関係機関との連携を図る。

2023年度 人権啓発センター事業計画（案）

1 社会調査及び研究事業

事業を実施するうえで最低限の基本資料として、地域内の世帯数、男女別人口、年齢階層別人口及び就学状況を把握し、センターの運営に活かす。

2 相談事業

地域住民に対し、生活上の相談、人権に関わる相談に応じて適切な助言、指導を行う。

- (1) 職業相談
毎月20日を職業相談日と定め、国分公共職業安定所との連携のもと、雇用保険受給手続き関係、その他職業についての相談、指導に当たる。
- (2) 生活相談
住宅資金、税金、介護保険料、水道料金等の代理納入、国民健康保険証の切替手続き、国民年金の免除申請の事務手続き、介護保険の事務手続き等、地域住民の生活相談に当たる。
- (3) 健康相談
保健センターと連携して乳幼児・子育て支援、栄養相談、健康相談、その他健康上の相談に当たる。
- (4) 人権相談
関係機関と連携しながら相談に当たる。
- (5) 教育相談
児童生徒支援加配教諭と連携し、相談、指導に当たる。更に支援が必要な家庭については、必要に応じて関係する教育・福祉行政機関等との連携を図り、相談、指導に当たる。

3 啓発・広報活動事業

地域住民に対して、広く人権に関する理解を深めるため、日常生活に根ざした啓発・広報活動を行う。

- (1) 市民に対し、部落解放霧島市研究集会への積極的な参加を呼びかける。
- (2) 人権啓発センター教室生及び利用者に向けて、部落問題をはじめとする人権学習会を実施する。
- (3) その他の啓発活動
 - ・同和問題啓発強調月間パネル展示 2023. 8/1～8/16 市民課前ロビー
 - ・小中学校児童生徒人権啓発作品展 2024. 1/15～2/2 市民課前ロビー

4 地域交流事業

市民を対象とした各種クラブ活動、レクリエーション、教養、文化活動を通して地域住民との交流を図る。

(1) 一般教室 (※11教室 2023年5月～2024年3月実施予定)

教室名	回数/月	開講日	受講者		
			うち地域内	うち新規	
絵手紙	1回	第1月曜日	8	0	3
折り紙	1回	第1水曜日	11	0	3
着物着付け	2回	第2・4月曜日	17	1	5
元気体操	2回	第2・4水曜日	17	0	1
津軽三味線	2回	第1・3水曜日	10	0	1
初めてのパソコン	2回	第1・3火曜日	9	1	3
パソコン(入門)	2回	第2・4火曜日	11	0	4
パソコン(実用)	2回	第1・3金曜日	14	0	6
パッチワーク	2回	第1・3火曜日	13	1	3
舞踊	4回	毎週金曜日	8	2	1
フラワーアレンジメント	1回	第2木曜日	9	1	4
合計	-	-	127	6	34

(2) 学習相談会・解放学習会・人権学習会

学習会名	回数	対象者
小学校学習相談会	学期毎に計画	全学年
中学校学習相談会		
高校学習相談会		

学習会名	回数	対象者
小学校解放学習会	学期毎に計画	全学年
中学校解放学習会		

学習会名	回数	対象者
各種人権学習会	年5回	教室受講生、地域住民外

(3) 教養・文化活動

教室名	回数	対象者
硬筆教室 (8名)	月2回	地域住民
地域のひろば推進事業(※支援)	月2回	地域住民

※地域のひろば推進事業の取り組みの支援について

霧島市高齢者施策担当課や、霧島市社会福祉協議会、地域の自治会と連携して、月2回程度の貯筋運動など地域の高齢者の健康づくり、介護予防などを目的とした地域のひろば推進事業の取り組みの支援を行います。

5 人権啓発センターだよりの発行

地域住民に向けて、啓発センターの活動内容や行事、人権学習会の開催等の広報を目的としてセンターだよりを発行する。（年4回程度発行予定）

6 人権啓発センター職員の資質の向上

各種研修会や、全国隣保館連絡協議会・鹿児島県隣保館連絡協議会が主催する研修会に積極的に参加し、人権啓発センター職員として資質の向上に努めます。

◆全国隣保館連絡協議会・鹿児島県隣保館連絡協議会主催の研修会（予定）

- ・全国隣保館九州ブロック女性職員研修会（9/28～29 鹿児島県薩摩川内市）
- ・全国隣保館職員九州ブロック研修会（11/21～22 福岡県北九州市）
- ・全隣協ブロック別学習会及び九州ブロック独自研修会（2/15～16 大分県別府市）
- ・鹿児島県隣保館連絡協議会女性職員研修会（6月・1月 さつま町立太陽福祉センター）
- ・鹿児島県隣保館連絡協議会県内研修会（8月 さつま町立太陽福祉センター）

◆各種研修会（予定）

- ・第48回鹿児島県人権・同和教育研究大会（8/8～9 鹿児島市）
- ・人権社会確立第42回全九州研究集会（10/7～8 熊本市）
- ・霧島市、霧島市教育委員会の主催する人権同和問題に関する研修会
- ・鹿児島県人権・同和教育研究協議会の主催する研修会
- ・始良地区人権・同和教育研究協議会の主催する研修会
- ・霧島市人権・同和教育研究協議会の主催する研修会
- ・その他運動体の主催する研修会